

覚えておこう 割れたガラスの破片から足を守ったり、避難所で履くために上履きや体育館履きは大切！1人1足準備しましょう！

揺れがおさまったらこれをチェック！

自宅確認チェックシート

自宅が安全な場合は、自宅にとどまっの避難生活を検討しましょう。

自宅の周りの確認！ 危険に気づいたらすぐ避難

- 近隣で火災が起きていないか確認しましょう
- 近隣の建物や塀が自宅に向かって倒れてこないか確認しましょう

自宅を確認する前に！

- 靴やスリッパを履いたり、ヘルメットなどを被り、けがをしないようにしましょう
- 余震で出口が塞がらないようにドアを開けましょう

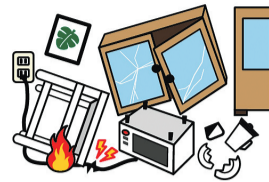
自宅の外観や内部の確認！

- 自宅の壁や基礎部分に大きな亀裂があるなど、損壊していないか確認しましょう（最終的には応急危険度判定士が確認して回ります）
- 自宅内の家具類が倒れてくる等、危険がないか確認しましょう
- 停電・ガス漏れ・断水・水が流れない等、ライフラインの状況を確認しましょう（下水の確認は周囲の状況をよく確認してからにしましょう）
- テレビや携帯電話、ラジオ等で情報が入手出来るか確認しましょう

一つの意識で狛江を救う！ 通電火災対策

地震時の通電火災にご注意

狛江市は、市内の大半が住宅地であるため、災害時に1つ火災が発生すると広く延焼してしまう恐れがあります。各家庭での火災対策が絶対が必要です。



通電火災の原因

地震が起きて停電が発生

ここで対策！

地震が起きた時に自動でブレーカーが下がる感震ブレーカーを日ごろから設置！



電気がついたままであることに気づかずに避難

ここで対策!!

避難するときは停電の有無にかかわらず必ずブレーカーを下げる！

タダ!!



停電が解消され、電気が通った際に、電化製品や電気配線から出火

これは絶対に守る!!!

対策で下げたブレーカーを上げる時は、自宅と電化製品の周りを確認してから！

タダ!!



自宅で避難生活？

どこかへ避難？

揺れから命を守った後のために...

分譲マンション管理組合、賃貸マンション所有者のみなさんへ

マンションで災害時に備えてみませんか？

東京都では、災害による停電時でも、自宅での生活を継続しやすいマンションを「東京とどまるマンション」として登録・公表し、普及を図っています。

「東京とどまるマンション」に登録したマンションに対して防災備蓄資器材の購入費用の一部を補助する制度があります。

補助率 2/3

上限額 66万円

主な要件

東京とどまるマンションに登録しているマンションの分譲マンション管理組合や賃貸マンション所有者

補助対象

防災備蓄資器材の購入に係る経費 (例) 発電機、簡易トイレ等 ※飲料水・食料は対象外

とどまるマンション促進課長 “とどまるくん”



詳細は都ホームページをご覧ください



問合せ 東京都住宅政策本部民間住宅部 マンション課 ☎03-5320-5007 (直通)

地震の避難

あれこれ

★災害時集合場所と避難所

災害時集合場所	避難所
周囲の建物の倒壊や火災から一時的に身を守る場所	長期的な避難生活を送る場所

★避難所の4つのない

①避難所に避難しなければいけないわけではない

狛江市では地域による避難所の指定はしていません。自宅が安全な場合は、自宅にとどまったり、避難する場合でも避難所以外の安全な避難先に避難するなど、避難所へ避難しなければいけないわけではありません。

②避難所はすぐに入れない

避難所の開設には、時間がかかります。

③避難所は快適ではない

開設してすぐの避難所にはパーティションや段ボールベッドがなく、プライバシーや感染症対策等から、快適な環境ではありません。

④避難所に何でも準備されているわけではない

倉庫のスペースに限りがあるため、履き物や着替え等の備蓄はありません。各自で持って来なければいけません。

